



## 東南アジアの中高校長先生・教員 51 名、宮城、愛知の学校を訪問

～教育を通じた相互理解、日・ASEAN の将来的な関係構築に向けて～



画像は昨年度実施した事業の様子です

国際交流基金（JF）は、ASEAN 各国の教員を日本に招へいし、日本の教員・生徒・学生との交流を通じて、教育現場での課題や知見の共有と、授業を通じた相互理解を促進する「日 ASEAN 中高教員交流事業」を実施しています。JF が推進する「次世代共創パートナーシップ—文化の WA2.0—」の一環として行うものです。

初年度である一昨年は 55 名、2 年目となる昨年度には 98 名の先生方が参加し、大分県、徳島県、そして、福岡県、広島県、山形県、富山県を訪問し、各地の学校にて交流を深めました。

3 年目となる本年度は、6 月上旬に ASEAN10 か国の中学校・高等学校の校長先生等 25 名が来日、続いて 6 月中旬には、シンガポール、フィリピン、ブルネイ、マレーシアの中等教育段階の教員 26 名が来日します。それぞれ宮城県と愛知県の学校を訪問して各校の教員や生徒と交流し、互いの国が抱える教育・社会課題等について意見交換を行います。

参加者は、教育をテーマとした講義を受講する他、東京都では教育に関する研究調査を行う研究機関や、学校等と連携して SDGs 教育や防災教育の開発・普及に取り組む団体を視察します。

宮城県では、東北地方の公立高校で初めて国際バカロレア認定を受けた「宮城県仙台二華中学校・高等学校」を訪問し、授業や部活動、その先駆的な教育を視察します。また、「国立大学法人宮城教育大学」では、教職大学院における教師養成について理解を深めます。さらに、「石巻市震災遺構門脇小学校」を訪れ、東日本大震災における津波被害の実状に触れ、防災教育や教育現場での危機管理について学びます。

愛知県では、「愛知県立津島高等学校・附属中学校」を訪問し、公立中高一貫校としての教育的な取り組みや学校生活を見学します。また、全国初の工科高等学校附属中学校として本年度に開校した「愛知県立愛知総合工科高等学校・附属中学校」では、工業教育を実施する施設等の見学を行います。あわせて愛知県教育委員会を訪問し、産業県としての特色を生かした教育政策について学びます。

このほか、旅館宿泊体験や文化施設見学などを通じて日本文化への理解を深め、多面的視点から日本理解の促進を図ります。日本・ASEAN 間の人的交流を基盤として、世界的課題の解決に向けた国際協力の推進にも寄与します。本事業への参加を通じて得られた知識や経験は、参加者それぞれの教育現場において、講義や授業として若い世

### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)

代に還元され、将来的な日・ASEAN の関係がさらに強化されることが期待されています。

## ■プログラム概要

事業名称 : 次世代共創パートナーシップ—文化の WA2.0—  
2026 年度「日 ASEAN 中高教員交流事業」  
主催 : 独立行政法人国際交流基金 (JF)

### グループ A

日時 : 2026 年 6 月 7 日 (日) ~ 6 月 14 日 (日)  
参加対象 : インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ラオスの中等教育機関校長および教育行政官等 計 25 名  
訪問地 : 東京都、宮城県  
日程 (予定) : 6 月 7 日 (日) 参加者来日  
6 月 8 日 (月) オリエンテーション  
外務省、文部科学省、歓迎レセプション  
6 月 9 日 (火) 国立教育政策研究所、旅館宿泊体験  
6 月 10 日 (水) 宮城県仙台二華中学校・高等学校 (宮城県仙台市)  
6 月 11 日 (木) 国立大学法人宮城教育大学、石巻市震災遺構門脇小学校  
6 月 12 日 (金) 株式会社デジタル・ナレッジ、現役教師との懇親会  
6 月 14 日 (日) 参加者帰国  
使用言語 : 英語

### グループ B

日時 : 2026 年 6 月 14 日 (日) ~ 6 月 21 日 (日)  
参加対象 : シンガポール、フィリピン、ブルネイ、マレーシアの中等教育機関に所属する教員および教育行政官等 計 26 名  
訪問地 : 東京都、愛知県  
日程 (予定) : 6 月 14 日 (日) 参加者来日  
6 月 15 日 (月) オリエンテーション  
一般社団法人シンク・ジ・アース、歓迎レセプション  
6 月 16 日 (火) 株式会社 COMPASS (AI 型教材「キュビナ」開発)  
愛知県教育委員会、旅館宿泊体験  
6 月 17 日 (水) 愛知県立津島高等学校・附属中学校 (愛知県津島市)  
6 月 18 日 (木) 愛知県立愛知総合工科高等学校・附属中学校 (愛知県名古屋  
市)、名古屋城  
6 月 19 日 (金) 特定非営利活動法人プラス・アーツ、現役教員との懇親会  
6 月 21 日 (日) 参加者帰国  
使用言語 : 英語

#### この件に関するお問い合わせ :

国際交流基金 ブランド推進部 広報課 (広報担当 : 福島、熊倉)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)

各訪問先での交流・視察の様子について、ご取材いただけます。

被招へい者へのインタビューが可能です。（日英通訳を手配いたします。）

訪問先の関係者（学校の先生、生徒・児童など）へのインタビューや肖像権については、個別の許諾が必要です。

詳しくは、国際交流基金 ブランド推進部広報課 [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp) までご連絡ください。

## 2025 年度日 ASEAN 中高教員交流事業 事業報告パンフレット配布中！



昨年度の本事業の報告パンフレットが完成しました。事業の背景、各プログラムのレポート、参加者の声をまとめています。

プログラムに参加した ASEAN 教員へのアンケートでは、**全員がプログラムへの参加が「非常に有意義」あるいは「有意義」と回答しました。**

また日本の教育や指導法を自国の教育現場で導入する可能性については 98 名中 87 名が「非常に高い」あるいは「高い」と回答しました。

ぜひ、日本と ASEAN の教育者の交流の様子をご覧ください。

プログラムへの参加は

有意義でしたか？

Was your participation meaningful?



パンフレットのダウンロードはこちらから

<https://www.jpf.go.jp/j/project/intel/exchange/for-secondary-school-educators/2025report.pdf>

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)

## 「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」について

国際交流基金（JF）は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、総合的に国際文化交流を実施する日本で唯一の専門機関です。

JF では 2024 年から 10 年間にわたって ASEAN を中心とするアジア諸国と、日本語教育、文化芸術、日本研究、国際対話の分野で、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」を展開しています。

日本語パートナーズ事業と双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。

## ◆日本語パートナーズ事業

アジアの中学・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。

## ◆双方向の知的・文化交流事業

相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。



次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－公式サイト <https://asiawa.jpf.go.jp/>では、これまでの取り組みを記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

以上

## この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)